



防災まちづくり談義の会

「防災塾・だるま」 会員の活動紹介(3)

「防災の課題と対策」を考える 意見交換会

大規模災害等発生



総合司会：釜石 徹 氏

災害対策研究会 主任研究員

マンション防災士・家庭防災士

首都直下地震発生時の停電日数や避難所収容人数を意識しないまま地域の防災対策を検討していませんか。また、避難所にはどれくらいの人が来るでしょうか。次のテーマについて意見交換しながら地域の防災対策を見直すキッカケを提供したいと思います。

1. 首都直下地震発生時の停電日数を想定する
2. 避難所の収容可能人数の試算方法
3. 地域防災計画の避難所収容人数計算の考え方
4. 旧耐震家屋に住む人の割合の調べ方
5. 課題解決策を議会に陳情する

◆参加者への宿題：自宅最寄りの避難所の収容予定人数を調べてきて下さい。＜調べ方＞①地域防災計画・資料編を見る、②行政に聞く、③避難所となる学校に聞く

◆日時：2018年12月21日(金)

16時～17時30分

◆会場：神奈川大学 24号館 310号室

◆参加費：無料(資料代100円)

◆申し込み不要(直接会場にお越しください)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



次回のご案内 開催日時：2019年1月25日(金) 18時～19時30分 神奈川大学 24号館 310号室
テーマ：「北海道地震に遭遇して」 相原 延光氏 関東学院中学校・高等学校講師